

労災ケア通信

第62号
平成30年2月15日
発行：一般財団法人
労災サポートセンター
〒102-0073
東京都千代田区九段北4-1-3
飛栄九段北ビル10F
TEL 03-6834-2510(代表)
FAX 03-6834-2530
ホームページアドレス
<http://www.rousaisc.or.jp>



平成三十年(戌年)

新春・正月の抱負

『安心していきいきとした生活ができる施設』を目指して

入居者の皆様、遅ればせながらあけましておめでとうございます。

当財団では、本年も入居者の皆様の自立の精神を尊重し、安心していきいきとした生活ができる施設の実現を目指し、全力をあげて取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

本年の干支は「戌(いぬ)」です。

戌の字は「戈(ほこ)」と「一」から成り立ち、刃物で作物を刈り取ってひとまとめに締めくくる様子を表しているそうです。一方、戌にあってられる動物の犬は多産でお産が

軽いとされていることから、安産については「戌の日」が吉日とされています。

戌の年というのは、収穫後で地をならした後に、新たに何かを産むという意味で新しい趣味などを始める年としても良いのではないのでしょうか。

本年が皆様にとりまして穏やかで平和な良い年でありますよう心からお祈り申し上げます。

労災サポートセンター

安全と安心の介護を目指して

『褥瘡についての講習会に参加して』

ケアプラザ岩見沢

介護課 片倉 雅代

10月18日、皮膚・排泄ケア認定看護師を招いて「褥瘡について」の講習会が行われました。

褥瘡発生のメカニズムから予防・褥瘡部洗浄方法まで、日頃介護する我々にとって必要となる基礎知識からケアまでを系統的に学ぶことが出来ました。脊髄損傷等の入居者の方々にとって、褥瘡は環境整備やケアが大きく影響することを改めて実感する機会となりました。

今回学んだことを念頭に置き、日々の介護に努めたいと思います。



講習会の様子

『排泄物、吐しゃ物の』

取り扱い研修会を実施』

ケアプラザ岩見沢 感染対策委員長

12月6日、中国労災病院感染管理認定看護師の柴田美加看護師長を招き、「排泄物、吐しゃ物の取り扱い」というテーマで研修会を開催し、感染症についての講義と参加者全員で吐しゃ物処理の実習を行いました。

実習では、吐しゃ物処理の際は思った以上に汚物が飛散することを実感しました。ノロウイルス等感染性胃腸炎の流行期に入りますが、研修会で得た知識を基に、①ウイルスをうつさない②もらわれない③拡げないよう適切な対応をしていきたいと思っております。



吐しゃ物処理の実習



講義の様子

『感染症予防研修』

ケアプラザ新居浜 介護課

「施設でできる感染管理」と題した感染症予防研修が12月20日、会議室で開催され、介護課職員や総務課職員、調理関係者など21名が受講しました。

愛媛労災病院の感染管理認定看護師の菅原氏を講師に迎え実施された今回の研修会では、インフルエンザとノロウイルスにテーマを絞り、感染経路や日頃の感染対策、汚物処理方法などについて学びました。



実践に役立てようと真剣に受講しました

入居者だより

『行事委員になって』

ケアプラザ岩見沢
入居者 倉間金一

私は平成27年7月に入居し、2年が過ぎました。入居した翌年には入居者代表の行事委員になってほしいと頼まれ、現在まで引き受けています。

12月13日の「年忘れ会」では抽選会のくじ引き係としてステージに上がりました。

今年は自分もくじに当たり、景品を貰うことも嬉しかったです。



年忘れ会の1コマ (マジックショー)



くじを引く倉間さん

ケアプラザだより

『公民館祭りに』

折り紙アート作品出展』

ケアプラザ富谷 総務課

10月14日、近隣の東向陽台公民館にて年1回のお祭りが盛大に開催され、ケアプラザ富谷の入居者の方々が作製した折り紙アート作品を出展しました。リハビリや交流を目的として今年度から制作を始めた折り紙アートですが、近隣住民の皆さんに紹介することがで

き、制作者たちも励みになったようです。

また、入居者お手製の編み物を希望者にプレゼントしたところ、大変好評で、あつという間になくなってしまいました。

そして昨年同様、車いすダンス発表の機会があり、地元の暖かい声援の中、ダンスを披露してきました。



折り紙アート作品展示状況



地元の方へプレゼントした
お手製の編み物

『運動会を開催』

ケアプラザ四街道 総務課

10月25日(水)に毎年恒例の「運動会」が開催されました。入居者約40名、職員を含めると約60名が参加し、「パン食い競争」、「借物競争」、「各棟対抗リレー競争」が行われました。

入居者の皆様からは、「パン食い競争が楽しかった。」、「大変盛り上がりまして

しかったです。」、「とても楽しかったです。良い時間を過ごせた。」、「来年は是非屋外でやってみたい。」等の意見が寄せられました。競技に夢中になり必死に食らいつく入居者の皆様の表情はいきいきとしておられました。

なお、全員が応援する中、最後に行われた「各棟対抗リレー競争」は、A棟入居者チームが優勝し、施設長からトロフィーが授与されました。入居者の皆様と職員が一体となって作り上げた楽しい「運動会」でした。



『年忘れ会を開催』

ケアプラザ四街道 総務課

12月13日(水)に恒例の「年忘れ会」が約60名の入居者の皆様の参加のもと開催されました。当日は、介護課職員が企画した「サイエンスショー」…ケアプラザ四街道のでんじろうによる科学の実験、「ビンゴゲーム大会」を実施しました。

「サイエンスショー」では、趣向を凝らした「空気砲」、「静電気」、「シャボン玉」の科学実験に入居者の皆様も目を見張り、大いに盛り上がりました。中で

も、思いのほか遠くまで届く「空気砲」の威力に大きな歓声が上がりました。

また、「ビンゴゲーム大会」では、入居者が真剣にカードとにらめっこしながら大きな声で「リーチ」、「ビンゴ」と声を出し、



喜々として賞品を受け取る姿が印象に残りました。年の瀬のひと時、忘れがたい「年忘れ会」となりました。

『年忘れ会』

ケアプラザ瀬戸

介護福祉士 白木原康邦

12月13日(水)毎年恒例の年忘れ会を開催いたしました。

はじめに、施設長サンタから年忘れ会開会の言葉があり、クリスマスプレゼントが入居者の代表の方へ手渡されました。

入居者の皆様のテーブルにエビフライやカニグラタンなど豪



華な夕食が提供されたのを合図に、ボランティアの皆さんによる三味線の演奏、歌や踊りの楽しいステージが繰り広げられ、年の瀬の楽しい時間を過ごしました。

『新年太鼓』

ケアプラザ瀬戸

援護係長 加藤文則

平成30年1月4日(木)恒例の「新年を祝う会」が開かれ、施設長からの新年の挨拶のあと、子供だけの和太鼓チーム「瀬戸子供太鼓こまいぬ座」による、勇壮で華やかな和太鼓演奏が披露されました。演奏後には和太鼓体験もあり、叩いてみると大きな音がする太鼓に入居者の方々は大喜びでした。

あっとい間の時間でしたが、食堂前ホールは子供達の弾けるような元気と体中に響き渡る和太鼓の音で満たされ、入居者も職員も新しい年を今以上に健康に過ごしていくための力を与えられたようで、本当に素晴らしい「新年太鼓」でした。



和太鼓演奏の様子

『茶話会』

ケアプラザ瀬戸 管理栄養士

当施設の近くの小学3年生31名が、ダンスや歌、リコーダーの演奏などを披露してくれました。運動会の演目だった黄色い帽子とリストバンドを小道具にしたダンスは、とても元気で、観ているこちらもたくさん元気をもらいました。



かわいらしい振付に入居者の皆様の顔も終始ほころんで、お茶やお菓子をいただきながら楽しい時間を過ごしました。

『年忘れ会』

ケアプラザ堺

介護課 池平玲子

12月10日(日)恒例の「年忘れ会」を開催しました。

劇団の方を招いて、歌や踊りで楽しんで頂き、いつもより、



ちよこつと豪華な食事で満足頂きました。

これからも四季折々に催し物を通じて、入居者の皆様に楽しんで頂きたいと思えます。

『芋ほり体験』

ケアプラザ呉 総務課

平成29年5月下旬に施設内の畑にサツマイモを植え、同年11月に収穫をしました。写真にもあるように今年は大豊作となりました。

収穫したサツマイモは、バーベキュー大会で炭焼にして入居者の皆様に提供する予定としていましたが、残念ながらあいにくの雨で炭焼きはできませんでした。

行事当日は、厨房で焼いた芋を皆様に召し上がってもらいました。

入居者の皆様からは、「美味しい」と好評で、職員一同、ホッと胸をなでおろしました。



大豊作でした

『秋のゲートボール大会』

ケアプラザ岩 総務課

毎年5月に開催しています「ゲートボール大会」ですが、今年は春大会に引き続き、10月に秋大会を開催しました。入居者選抜のA・Bの2チームと職員選抜チームの全3チームが優勝をかけてリーグ戦を行い、入居者選抜のBチームが激戦を制しました。ゲートボール大会への参加は、未経験者の方でも大歓迎です。次回大会は5月を予定していますので、たくさんのエントリーをお待ちしております。



大会終了後に記念撮影

『ふれあいデー (おしゃべりボランティア)』

ケアプラザ宇土

介護課 田中 美保

11月15日の午後、コミュニティホールで入居者の皆様が楽しみに待つて

いる「ふれあいデー」が行われました。いつもは静かな雰囲気「おしゃべりデー」なのですが、この日は「おしゃべりボランティア」さんがゲストとして参加されたこともあり、自然と会話も弾み笑みがこぼれ、会場は和やかな雰囲気に包まれていました。

これからも地域のボランティアさんの協力を得ながら、施設の行事が入居者の皆様のいい場所となり、施設での生活をより一層楽しんで頂けるよう努めたいと思います。



訪問者だより

『小学一年生の発表会』

ケアプラザ岩見沢 総務課

11月9日(木)、施設近くにある岩見沢市立日の出小学校から一年生59名が施設を訪れ、先の学芸発表会で披露したという歌と踊りを披露してくれました。

年に1回の交流行事ですが、今年は



発表風景

衣装を合わせ、テンポの良い曲で踊る子供たちがとても印象的でした。入居者、職員一同、楽しませてもらいました。



全員で記念撮影

『歌う坂本竜馬』

松尾貴臣氏によるライブ開催』

ケアプラザ富谷 総務課

10月19日、ケアプラザ富谷にてプロミュージシャン松尾貴臣氏によるライブが行われました。松尾貴臣氏はご自

身の音楽活動の傍ら、全国の病院・福祉施設での「ホスピタルライブ」公演を展開している方で、トレードマークが紋付袴のため坂本竜馬と呼ばれるようになったそうです。また、平成22年にはケアプラザ四街道でも公演を実施したそうです。

ライブ当日は、たくさんのお客さんの方々が多目的ホールに集まり、松尾さんの素敵な風貌と歌声に魅了され、楽しい一時を過ごしました。ライブ終了後は、写真撮影、サイン会、及び音楽活動の様子をお話ししていただき、すっかりファンになった入居者様もいて、「また来て下さい」と別れを惜しまれていました。



ライブの様子

『家族同伴サービスの利用者からのお言葉』

ケアプラザ堺 総務課

先般、当施設にて「家族同伴介護サービス」をご利用になられた、山中さんご夫婦の言葉をご紹介します。

山中山さんご夫婦は奥様がご主人の介護をされており、介護の手法や体の負担について、勉強目的でご利用になりました。

施設職員による学習時間を設定し、指導及び質疑応答を行いました。積極的に質問される姿と熱気に、指導する職員も思わず熱い指導になっていた様です。

お帰りの際、「もっと早く来れば良かった。非常に勉強になったし、職員の皆さんが凄く良くしてくれた。」「知らなかった福祉制度やその活用方法を知ることができ、無理に一人で頑張らなくても良いと思えるようになり、気が楽になった。」等のご意見、ご感想を頂きました。

『中学校吹奏楽部演奏会』

ケアプラザ呉 総務課

毎年恒例となりました、呉市立昭和中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏会を開催しました。



吹奏楽部のみなさん

入居者の皆様はもちろん、生徒

の保護者の方の参加もあり、職員も含め総勢約100名の観客で賑わいました。

「美空ひばりメドレー」をはじめ、「サザエさん」や「笑点のテーマ」などバラエティーに富んだ楽曲の演奏で会場が和やかな雰囲気になりました。

最後は、広島カープの応援歌「それ行けカープ」を演奏していただき、皆様のボルテージも最高潮となり、この日の一番の盛り上がりを見せました。

『可愛い訪問者』

ケアプラザ新居浜 総務課

12月13日午前11時からエントランスホールで開かれた年忘れ会に、市内の「パコダ幼稚園」の園児61名が引率の先生とともに来所し、元気いっぱいこの歌や踊りを披露してくれました。

入居者の皆様は、小さな可愛い訪問



可愛い園児たちの訪問に癒されました

者たちの歌や踊りに笑顔で拍手を送り、元気をもらっていました。



可愛い園児からの問いかけに笑顔で答えます

『臨地実習を終えて』

ケアプラザ宇土

管理栄養士 吉田 珠美

9月4日から5日間、管理栄養士課程の学生が臨地実習に訪れました。食事の配下膳の際には、入居者の皆様にとって、フレッシュな学生達がお孫さんのように愛らしく感じられたようでした。

たいへん嬉しそうな表情をみせていました。

これから更に実習や勉強を重ねて現場で活躍されることを思いま



す。今回、ケアプラザで学んだことを大いに役立てていただければ幸いです。

『近隣の福祉施設による花の販売会』

ケアプラザ宇土

介護課 藤本 奈々

12月1日、宇土市内の福祉施設による、毎年恒例のシクラメンなど花の販売会が行われました。福祉施設の利用者が丹念に育てられたシクラメンは色鮮やかで大変美しく、毎年多くのケアプラザの入居者や職員が買い求めています。

施設売店横の廊下での販売会は大混雑で賑わいました。

寒い冬の間、大変に美しい花々は入居者の皆様の気持ちを心からあたためてくれると思います。



実習生だより

『実習を振り返って』

ケアプラザ岩見沢
栗山町立北海道介護福祉学校
介護福祉学科 山口 あゆみ
西村 尚美

この度の1年次の実習では25日間お世話になり有難うございました。入居者の皆様、職員の皆様にはお忙しい中、ご指導や丁寧なご助言を頂きまして、心から感謝しております。

障害についての知識が足りなくて、戸惑うこともありましたが、入居者の方々の笑顔と励ましで頑張ることが出来ました。

こちらで経験させて頂いたことは、今後介護福祉士として、仕事の際に活かしていきたいと思えます。



談笑する山口さん



配膳する西村さん

労災重度被災者作品展の出展作品のご紹介

前号に引き続き、神戸市で11月8日から10日まで開催された「第13回労災重度被災者作品展」に出展された作品を紹介させていただきます。
なお、紙面の都合上すべての作品を掲載することが出来ませんので、ご理解をお願い申し上げます。



毛筆画「登り龍」



人形「雪祭り」



絵画「秋の風景」



絵画「リゾート白神 くまげら」



絵手紙「あまい、あまい」



切り絵「パンダ」



絵画「傘の花」



ビーズ「おしどり」



陶芸「急須と茶器」



陶芸「流星」